

次代を創る 神戸のニューリーダー

4

尾藤唯之

（株）サヌキ代表取締役

震災を機に一転
技術者から作業服販売へ

インターネット取引で 作業服販売を拡張

——主な業務はどのようなものですか。

尾藤 作業服の卸・販売をやっています。私は3代目です。創業は祖父の代で、戦後この場所に移転してきたと聞いています。

——この仕事に就く前は何をされていたのですか。

尾藤 大学は慶應義塾大学でした。大学院まで進み、卒業後は住友金属に勤め、半導体の設計など技術

者として働いていました。平成7年、震災で自宅が全壊し、父の病なども重なってこの会社も続けられないような状況になったのです。ところが借金や在庫の問題など止めるに止められない状況に陥ってしまったのです。それで仕方なく私が神戸に戻って家業を継ぐことにしたのです。

——それではまったく知らない業界に飛び込んで、一からのスター

トだったのですか。

尾藤 そうですね。とりあえず戻ってまずしなければならなかったのが、借金の返済でした。2000万円あったのですが、これは何とか4年で完済することができました。あと大量にあった在庫も、メーカーさんに新しいものと交換してもらったり、あまりに古いものは店頭販売で安く売ることでも何とか解決しました。

——いま会社では、実際にはどのような仕事をされているのですか。

尾藤 いまの私がやっている仕事は、会社のパソコンの前に座っていることがほとんどですね。まず朝来てメールチェック。午前中は商品管理など雑務の手伝いをして、午後からはサイト製作という毎日です。最近では自分で足を運んで営業することはほとんどなくなりました。社員に任せて、重要な契約などのときのみ、私が直接伺うようにしているぐらいです。



びとうただゆき 1967年神戸市生まれ。92年慶應義塾大学大学院理工学研究科計測工学専攻修士課程修了。同年、住友金属工業（株）入社。95年（株）サヌキ入社。98年（株）サヌキ代表取締役社長。